

# 昭和町駅(地下鉄御堂筋線)① ぎょうき 行基菩薩ゆかりの桑津墓地へ

文の里駅(地下鉄谷町線) 美章園駅(JR阪和線) 河堀口駅(近鉄南大阪線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その2 No.090



## 地下鉄昭和町駅

### ①南海平野線・文の里駅跡

- かつて、このあたり一帯は畑地でしたが、大正中期より天王寺土地株式会社が住宅地として開発し、また同社は駅を建設して南海鉄道に寄付しました。当時、付近に学校が多くあることから駅名を「文ノ里」と命名して、その後、駅名にあやかって駅周辺の住居表示も「文の里」と改称されました。しかし、昭和55年(1980)11月27日に廃線になりました。



### ②大阪市立工芸高校本館

- 大阪市指定有形文化財です。外壁のレンガ、大アーチの玄関入口、マンサード風の屋根など重厚かつロマンあふれる極めて特徴的なデザインになっています。マンサードとは、上部の傾斜が緩く、下部が急の2段に折れた屋根のことで、フランスの建築



- 家マンサールの創始によります。
- 名称「腰折れ屋根」で、大阪市内ではめずらしく、あまり類例がありません。

### ③文の里公園(慰霊塔)

- 文の里は大阪市最初の被爆地で、平和の祈りを込めて建立されたものです。

### ④榎神社・桑津墓地

- 桑津は『日本書紀』にも記述があるほど古い歴史をもちます。
- 桑津墓地は伝説によれば奈良時代の僧・行基(668~749)が開基したもので、行基墓と呼ばれたといわれていますが、行基自身がこの地で布教活動をした事実は不明で、弟子たちが行基の名を借りて布教活動をしていたのではないかと考えられます。いまは旧北田辺村と桑津村の葬祭や斎場で、現在600基ほどの墓碑があり、桑津墓地維持会が整備管理しています。また、この場所の字名は大塚で、地形も小高く

- なっているので、かつては古墳であったともいわれています。

### ⑤豊下製菓

- 明治5年(1872)創業の飴屋さんです。天王寺蕪、田辺大根、毛馬胡瓜、玉造黒門越瓜、金時人参、勝間南瓜、天満宮前大根、河内一寸空豆、泉州水茄子といった野菜をそのまま搾り、飴に炊き込んだという「なにわの伝統飴野菜」が、大阪土産として人気です。

### ⑥美章園駅遭難供養之碑

- 昭和20年(1945)2月14日、阪和線美章園駅に1トン爆弾が落下して、駅の鉄筋コンクリートの橋脚を粉砕するとともに、付近の民家20戸余りを破壊し、死傷者30余名を出すという大きな被害をもたらしました。当時の駅職員の手で昭和26年(1951)8月24日に供養の碑が建てられました。

## JR美章園駅

